

ともしこ

2024年2月5日発行

立春を迎えましたが、まだまだ寒さが続きそうですね。本校では学年締めくくりの3学期もじっくり、子どもたちの成長を応援しています。本校の取り組みをご紹介しますので、ご一読ください。

訪問教育学級の様子

今年度の訪問教育学級は、在宅生3名、病院生6名の計9名が在籍し、スタートしました。コロナ5類移行後も感染症対策を継続しながら、在宅生は週3回自宅へ、病院生は昨年6月より3年振りに対面での授業が再開され、週4回病院へ訪問し、授業を行っています。

在宅生は自宅での学習を中心にしながら、登校学習や校外学習などの活動もその都度体調に合わせて設定し、学習をしています。病院生は感染症対応により、それぞれの学習場所で個の授業を基本としていますが、第3学期始業式には小集団での式行事開催が実現し、個の学習から集団の学習へと進めることができました。



学校の運動会に登校して参加



ICT機器を活用して学校の友達と交流

また、コロナ禍をきっかけに浸透したICT機器を活用した学習も学校全体で進んでおり、訪問教育の中でも多方面で活用し、授業をしています。例えば自宅や病院と学校を遠隔でつなぎ、ALTや交流学习などの在校の授業に参加したり、学校の友達の様子を撮った動画を見聞きしたり、事前に練習した学習発表会の演目に動画で参加したりするなど、登校することが難しい状況でも学校の友達や先生との関わり合いをもつ学習を行うことができます。個々の授業の中では、スイッチや視線入力などのICT機器も活用し、それぞれの実態に合った教材を模索しながら、児童生徒がより主体的に活動に参加できる学習を目指して取り組んでいます。

(文責:訪問教育学級 佐藤)

気になる子どもの支援

自分の健康状態を自覚し、日常的に健康行動をとれるようになることは、人生を健やかに過ごすためにとても大切なことです。保健体育科で一般的な知識は学んでいるところですが、今回は日常生活の指導として、行動変容を促す学習の個別支援を行っているケースを紹介します。

本生徒は、肥満によりしゃがむ動きなど作業学習で要求される動作が上手く行えず、かつ血圧が高く生活習慣病の予防対策が必要な生徒です。高等部入学後から体重が増え続けており、進路希望先からは、体重を落とすよう言われています。そのため、食習慣や運動に関して、「レコーディング」という健康課題を可視化できる手法を使って、ノートに毎日の食事内容や体重、血圧を記入し、運動の有無をチェックし始めました。定期的に学級の教員と一緒にノート内容を振り返り、良かった健康行動を強化するとともに、生活習慣の課題を確認していきます。併せて、病気についての知識も繰り返し学習し、記憶の定着を図っています。

7月から本取り組みを開始し、当初体重は130kgでしたが、12月には125kgまで減少。冬休み明けは、さらに体重が1kgほど減っていました。これまで、長期休業明けは体重が増えていることが多かったのですが、生活リズムを維持し、運動を意識して散歩や雪かきなど身体を動かすことができるようになってきています。

行動変容に向けて、「なぜ生活習慣の改善が必要なのか」「何をいつどのように実行できるのか」の学習を積み重ねてきました。卒後を見据え、生徒の豊かな人生の応援につながるような指導を継続していきたいと思っています。

高等部 日常生活の指導

レコーディングによる生活習慣改善に向けた指導の一例

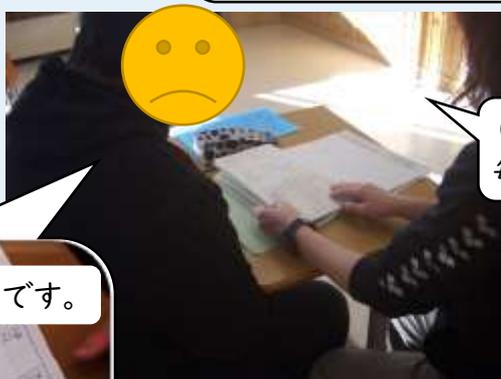


①毎日の食事内容と、体重・血圧を図り、ノートに記入します。



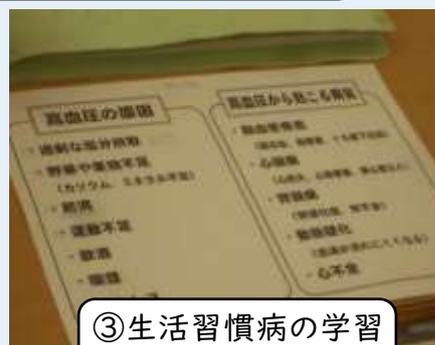
(教師)
体重が減ってすごい!
どんな運動をしましたか?

②教師と一緒に、レコーディング内容を振り返ります。



(教師)
毎食、何が足りないですか?

(本人)野菜が足りません。



③生活習慣病の学習も、繰り返し行います。

自立活動研修3「姿勢と栄養 part2」報告

本校では、姿勢やそしゃくに課題のある子どもたちが多数います。背中が丸まってしまう、足を投げ出して座っている、口を開けたままかむ、あまりかまずに飲み込む等です。そのため、昨年度の part1 に引き続き「姿勢と栄養 part2」として、発達段階に応じた安全な給食指導に関わる校内研修を11月に行い、小学部教員を中心に26名で学び合いました。

研修では、子どもたちの給食の様子をみんなでビデオを見ながら共有し、姿勢が悪いと飲み込みづらいことや、よくそしゃくをすると栄養素の消化吸収率が高いこと、食具の持ち方で食べやすさが変わってくることなどを、講義・演習をとおして確認しました。参加した教員から「姿勢やそしゃくで工夫したい点も気付くことができたので、生きた教材である給食をとおして、継続的に指導に取り組んでみたい」という声があがり、今後の支援に生かしていきたいと思います。

伊倉栄養教諭の
講義スライド抜粋



「体験して
みよう!」



ヨーグルトで
食べ方を演習

毎回、特別支援教育や障害者福祉に関わるおすすめの書籍などをご紹介します。

今回も、南十勝地域療育講演会内でご紹介のあった高山恵子さんの支援グッズを紹介します。

『ちょこっとチャット!』

ストレスマネジメントのワークから生まれた、カードを使用するコミュニケーションゲームです。家庭や学校、放課後の活動の場など様々な場面で使えるように工夫されており、みんなの気持ちをほぐし、話しやすい雰囲気づくりに役立ちます。園児・小学生版(ピンク)、中学生～大学生版(ブルー)、就労版(グリーン)、保護者版(オレンジ)とそれぞれあります。



先日、1対1で中学部の生徒と学習をする際、普段あまり関わりのない生徒だったので、始めにこのカードを使い簡単な質問などをしてコミュニケーションを図ることで、リラックスしてからお話することができました。

(今号は下津、相坂が担当しました)